

(発表資料)

2025年 8月4日
公益財団法人 放送文化基金

2025 年度助成対象（イベント事業部門前期）の決定と募集について

（１）放送文化基金 2025 年度イベント事業部門（前期）助成対象決定

今回の申請は、応募総数は 25 件でした。審査の結果、採択された件数は 11 件です。助成金額は、総額 1,890 万円となりました。

多岐にわたる申請の中から、メディア連携の取り組みや地域と連携した取り組み、新規性や実効性、今後の放送文化を展望できる点等が重視され、助成対象が決まりました。

助成対象に決まったプロジェクトは、今年 10 月から来年 9 月までの 1 年間に事業を実施し、報告をまとめることになります。

（２）2025 年度助成対象の募集について

放送文化基金では、毎年放送文化の発展向上に寄与することを目的として、放送に関連する調査・研究、事業に対する助成を行っています。

2025 年度の助成を下記 3 部門で募集をいたします。

○技術開発部門

放送技術に関する研究・開発への助成

○人文社会部門

放送に関する人文・社会科学的な調査・研究

○イベント事業部門（後期）

放送を中心としたメディア文化の向上に資するイベント・事業

詳細は、放送文化基金ホームページをご覧ください。



公益財団法人 放送文化基金
(担当) 根橋、馬越、甲斐
〒150-0047 東京都渋谷区神山町 9-6
TEL 03-5738-7151

2025 年度助成 [イベント事業 (前期)]

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--|---|--------------|
| 戦後 80 年沖縄民放 3 局合同ドキュメンタリー 上映会イベント | 沖縄民放 3 局合同ドキュメンタリー上映会プロジェクト 町 龍太郎 (琉球朝日放送コンテンツビジネス局コンテンツビジネス部) | 210 |
| 能登半島地震・奥能登豪雨の経験を未来へ「# つたえよう石川」民放 4 局共同防災イベント | 石川民放テレビ 4 局共同キャンペーン 「#WAKU をこえろ！」プロジェクト 代表幹事 中島 佳昭 (北陸朝日放送 編成局総合編成部部長) | 300 |
| 南海トラフ巨大地震を想定した関西 7 局と自 治体の共同防災訓練 | 関西民放 NHK 連携プロジェクト 事務局 京田 光広 (NHKエンタープライズ近畿 エグゼクティブプロデューサー) | 200 |
| 中学校における「ふるさとの魅力発信 CM」の 制作 | 自治体教育連携プロジェクト 代表 細谷 英宣 (熊本朝日放送 地域プロモーション局局长) | 20 |
| 放送・インターネットを活用した地域活性化に 資する事業 | まちのラジオプロジェクト 大嶋 智博 (オナガワエフエム プロデューサー) | 200 |
| メディアリテラシーと熊本地震の記憶継承を 考える交流事業 | 熊本県民テレビ 経営戦略局長兼サステナビリティ推進室長 本田 達昭 | 90 |
| 第 2 回 九州沖縄メディア・フォーラム | 福岡メディア批評フォーラム 副代表 神戸 金史 (RKB 毎日放送 報道局解説委員長) | 120 |
| ドキュメンタリー番組制作の勉強会 2 年目 を迎え制作実践ワークショップ開催 | 「北海道ドキュメンタリーワークショップ」実 行委員会 実行委員長 後藤 一也 (北海道文化放送メディア局映像プロデュース室部長) | 200 |
| 持続可能な音声業界にしていくための音声業 界活性化事業 | 玄石 代表取締役 石井 玄 | 100 |
| 山田太一が遺した膨大な資料をデジタルアー カイブ化して後世の放送文化の向上に寄与す る。 | 「山田太一のバトンを繋ぐ」会 代表 長谷川 佐江子 (アトラス) | 300 |

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--------------------------------------|--|--------------|
| 「地方の時代」映像祭 2007 年～2022 年応募作品のアーカイブ整備 | 「地方の時代」映像祭実行委員会 プロデューサー 市村 元 (関西大学 客員教授 (学長室)) | 150 |